

高 孤 獨 子
高 孤 獨 虫

卷

い
き
よ
ま
し
い

パブ 検索
manaho

真帆

大の字で寝る

こんな光景、何処かに有ったなあ。

ああ、会社人間の時、単身赴任先のマンションで大の字に寝ていて、何となく淋しいので、テレビのスイッチを入れればなまししているが、何も仏取り残されたみたいで空しい感じだった。同じ大の字に寝ているのになあ。





定年後 あのさ、固いた話だけんど、定年になっても元会社辺の力エに毎朝電車に乗って通勤して駄弁って帰えるんだって。寂しいの〜。バカ言ってるんじゃないよ。これがイイのだ。発展的・前進的リズムに変えてだよ。例えば、片道廻ぐらい徒歩の自転車を通い力エの図書館などで、友達数人の1人で過すリズムが不可欠なんよ。

元々、何も無かったんだから

遠い町へ

いぼっちで就職して、頭を下げて、挨拶して、仕事して、手助けして、自分を認め
て貰って、自分の周りに社会が出来てき
た。元々、いぼっちだったのに、居場所が出
てきた。





Baちゃんは？

Baちゃんは旅行で留守だから、お君は心配願で「今日は誰が保育園へ送ってくれるんですか？」と言ッ。「Baちゃん、Baちゃんですよ」と即答すると、「フーン」で終り、なんだか元気なッし。

ひとりは怖い

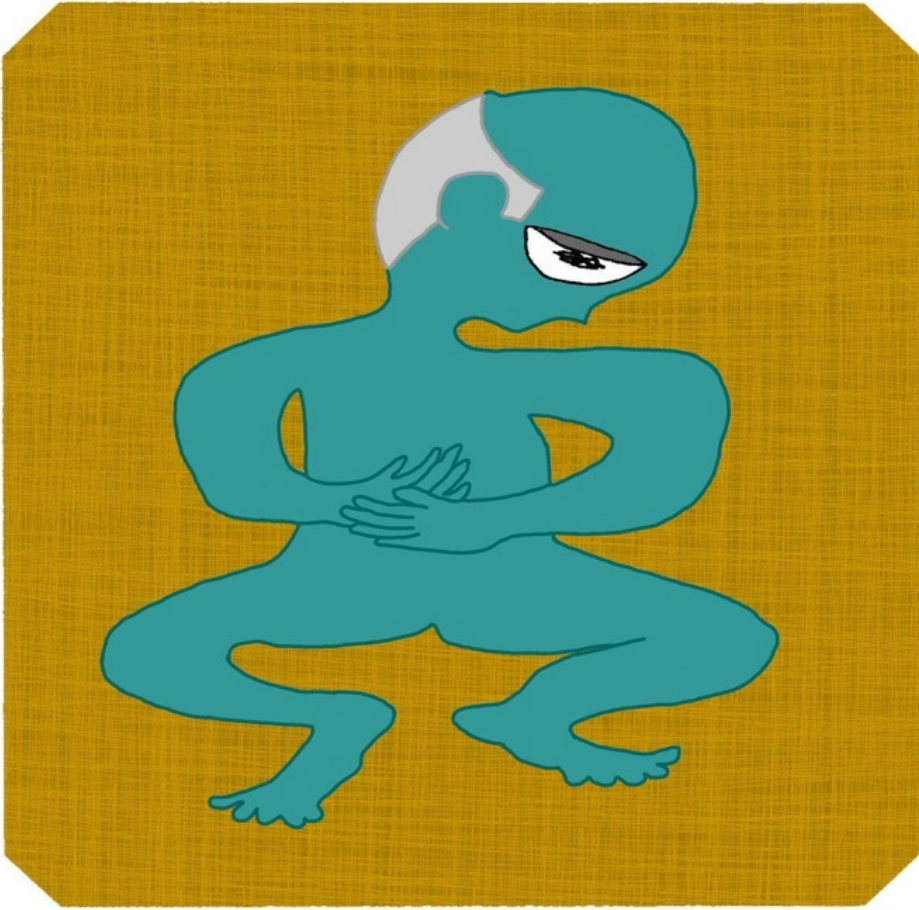
幼児はブツブツひとり

言を言いながら、オモチャひとり遊びを
している。でも、ひとりだと、淋しい恐
い。だから、Kaさんか、誰かを探し回る。
ちやんと大人がそばに居てよぬ。



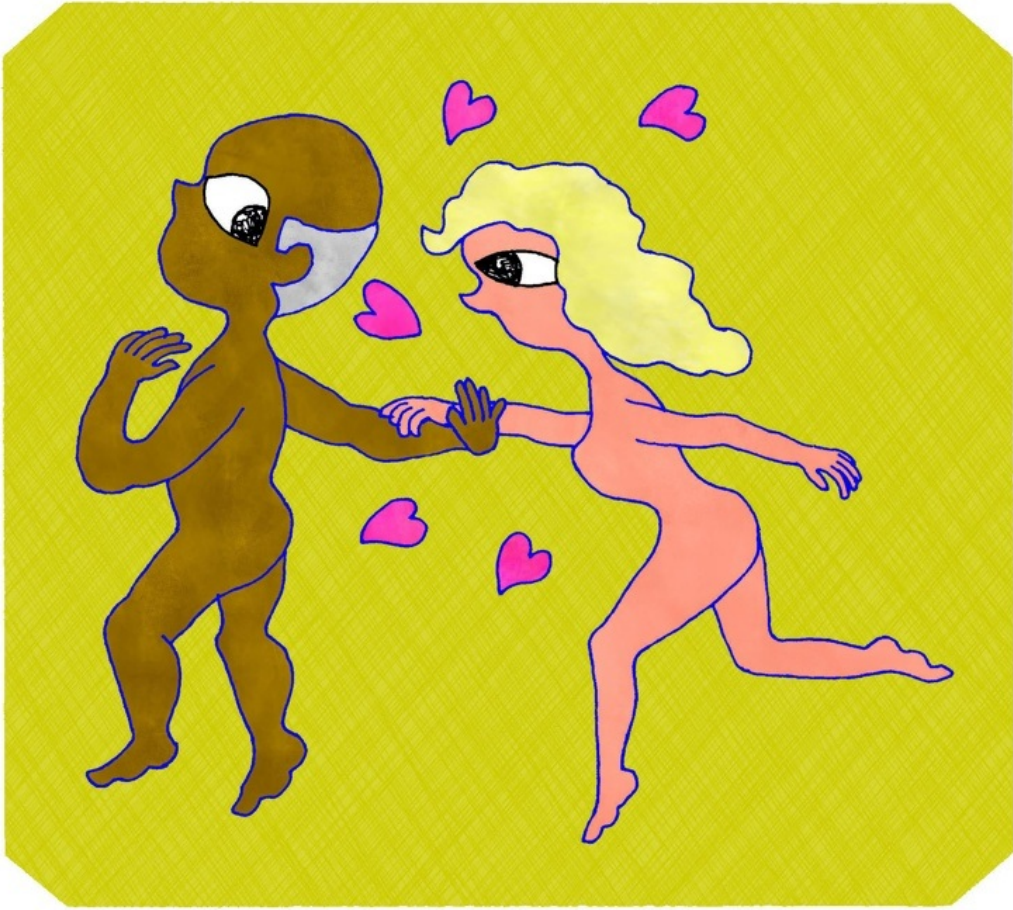
沢山の淋しさ

父も逝き、母も逝き、私も還暦過ぎると、夫婦がイイ、離れて暮す兄弟がイイ。只何となく居てくればイイ。沢山の淋しさを味わってきたので、ズキーンと感じる。若い時は遠う場所、遠い場所に何かが待っているよウな浮き浮きした気がして、飛びだしていったのに、何となく、昔が懐かしい。



心のバネ

淋しいと言ふ事を沢山味
わろ、丘ちゃんになった。それでもなるお淋
しい。どんなに恵まれていてもやは
り淋しい。子供学生・ビジネスマン時代か
ら、別れが一番淋しい。心のバネ。

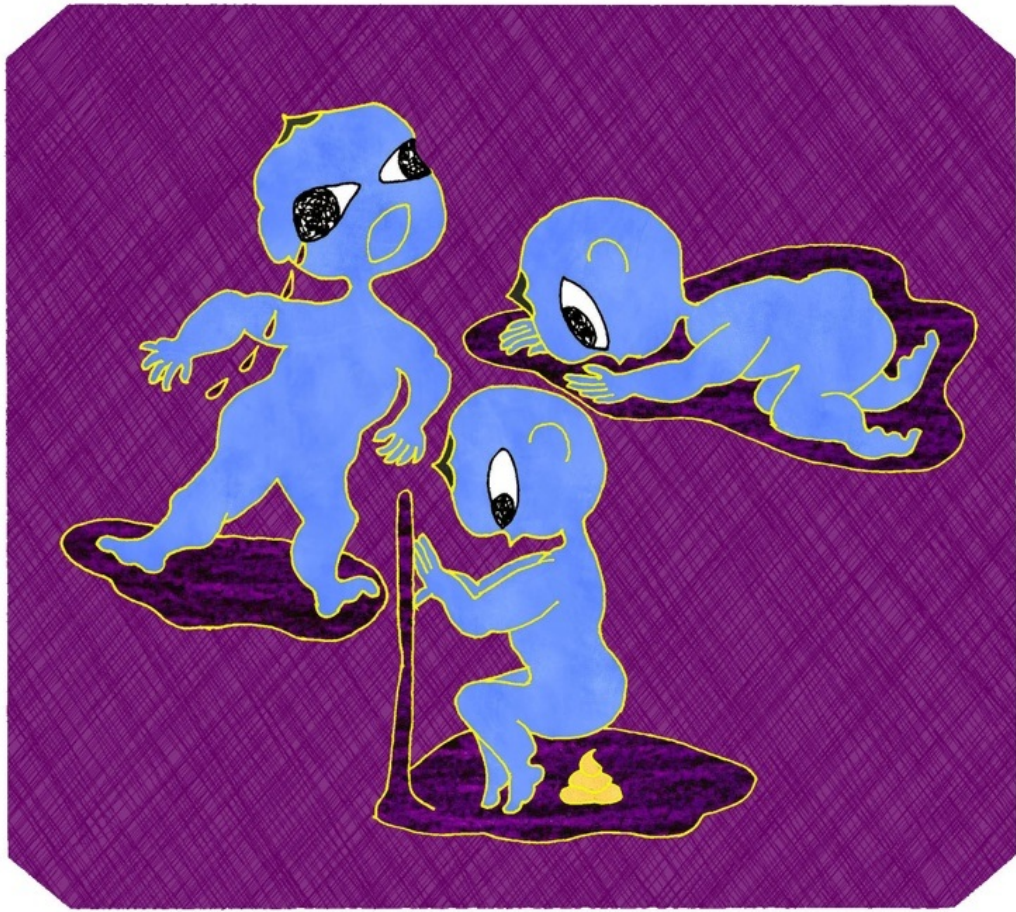


個を楽しむ

自己を持って、だが孤独に

なるな。友達は大事にしろ、だが無意味に群れるな。群から離れる怖さだけで暮すな。

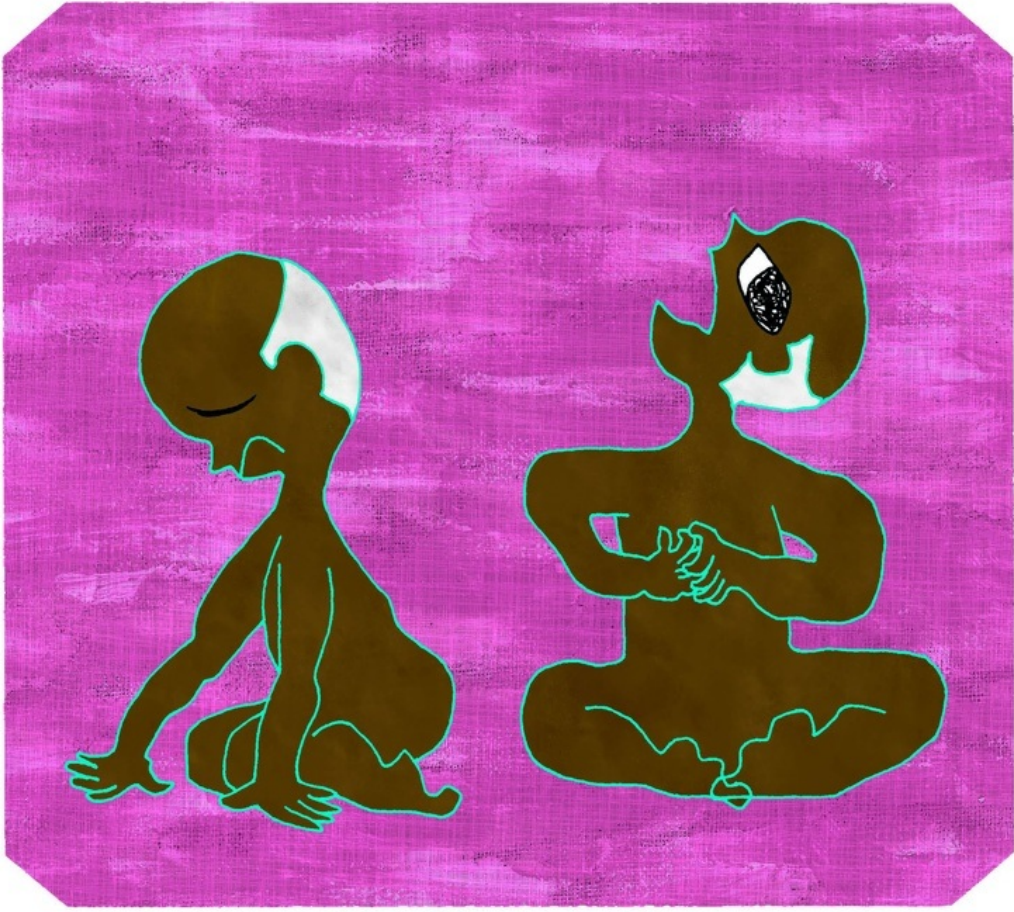




1人で挑戦 失敗してもイライラしても、誰もいぢない。自分でやるしかぢないもん。ウまくいかず泣いて泣いて泣いて1人で寝たら、また忘れて、また1人で挑戦できるね。家の片隅に1人で旅ができ、暗くても恐くないもん。でも1人で落着くとウンチ出たよ。ウンチが！

独楽

私が**孤高**！**孤高**！と声高に叫んでみても、結局は他人に**孤独**で淋しい奴としか見られん。マ〜〜イイカ。私が自分で、他人に迷惑かけずに**独楽**と思ひ込んでいりゃ。



コンテンツ

人間らしく生きる

